

ウオズ と ワタシ

2022
Summer



魚津で暮らす女性たちの
ライフスタイルmook

9

魚津で暮らすということ。
女性であるということ。
やりたいこと。
夢。
誰かと話すことで
気づくことがある。

Love,
Uozu.



K
M E
O
SODO
©UOZU, TOYAMA

What's
"HAKABURI"?

2020年にレジ袋が有料化されてから、エコバッグを利用する人が以前より多く見受けられるようになった。これは、有料化されたことによって「プラスチックを使っている」という意識が、少しずつ浸透してきているといえるだろう。

そんな消費意識が変化してきている中で、最近話題を集めているのが「量り売り」のお店。コーヒー店や肉屋、八百屋など、従来から「量り売り」で営業している店もあるが、最近ではナッツや洗剤、調味料などのお店も出てきている。

「量り売り」のメリットとしては、レジ袋やプラスチック個包装などのごみの削減となるほか、必要な分だけ購入するのでフードロスを減らせるといったことが挙げられる（お店によってさまざまな考え方があり、あくまで参考まで）。また、利用者からは「店員とコミュニケーションがとれる」「たくさん種類を少しずつ買える」、さらに「（自分で商品の重さを計って包装し、精算するといった一連の作業が）エンターテインメント性がある」「楽しい」などといった声もあった。

そんな良いことづくめで、買い物すること自体がちょっとわくわくする「量り売り」。このわくわく感をみんなと共有したい！と思いついた※SODOMENバーは、魚津市内にある量り売り店の情報を集め、実際に邪魔することにした。

Buy only the amount you need !

量り売り商品 ナッツ グラノーラ 香辛料 洗剤



GOOD CHOICE SHOPPERS

グッド・チョイス・ショッパーズ

魚津市火の宮町4-7

Mail: goodchoiceshoppers@gmail.com

@good_choice_shoppers

営業時間/12:00~18:00

[定休日はインスタでお知らせ]



閑静な住宅街の一角にある日用品店。よい買い物を考えることをコンセプトに2022年に開店。量り売りはナッツやグラノーラ、香辛料、洗剤などがあり、必要な時に必要な分だけ買うことができる。量り売り用の容器はビンやタッパーを持参し、パッケージフリーで購入できる。

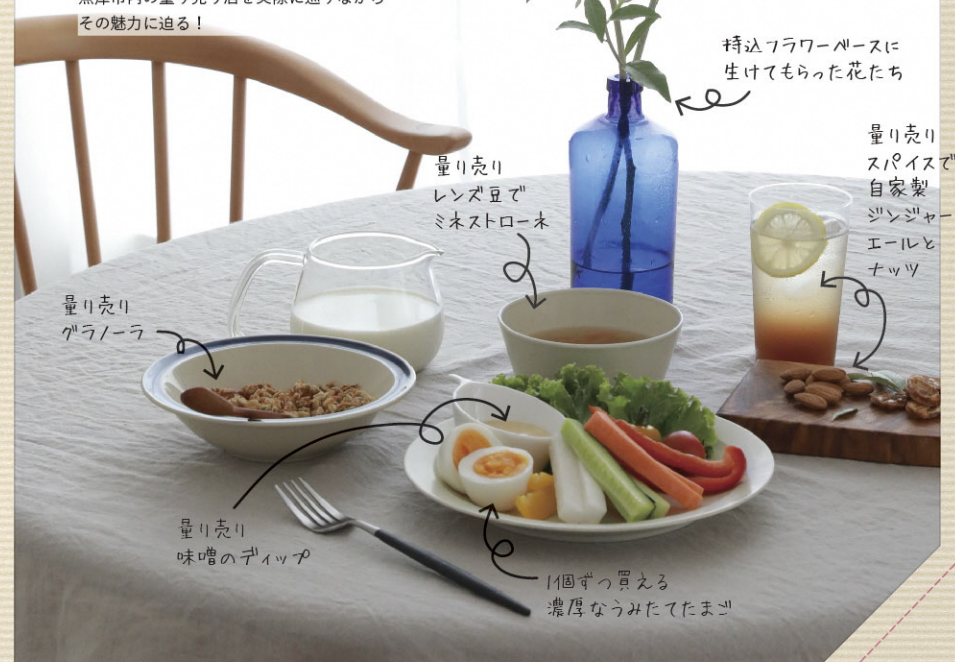
お買い物のわくわく感が
ここにある！

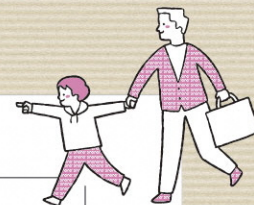
自分サイズのお買い物

お気に入りの容器やボトルをいつものかごに入れてお店に向かう。お店では必要な分だけマイボトルに入れて買う楽しさを感じながら、オーナーとの会話ははずむ…いま巷で話題の「量り売り」。

文字どおり、お店で必要な分を計って購入する方式だが、スーパーで購入するのとはどんな違いがあるのか？

魚津市内の量り売り店を実際に巡りながらその魅力に迫る！





量り売り商品 味噌



**MIYAMOTO MISO
STORE : BOBO.**

宮本みそ店(販売所: BOBO.)

魚津市宮津2025

Mail: info@miyatomotomiso.jp

TEL.0765-32-4156

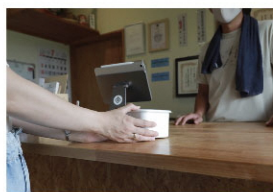
@miyatomotomiso

営業時間/【水～金】11:00～18:00

【土】11:00～17:00

定休日/日・月・火曜、他不定休

米から育てるこだわりの製法で、味共に評判の味噌屋さん。2022年9月に移転し、新店舗がオープン。お店ではマイ味噌ケースを持ち込むと、容器の大きさに合わせて新鮮な味噌を詰めてくれる。また、お好きな米で味噌を仕込んでくれるサービスもあり！



量り売り商品 卵 有精卵



**INAMORI
FARM**

有限会社 稲盛ファーム

魚津市石垣新3590

TEL.0765-22-0703

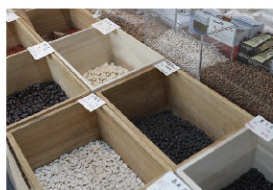
営業時間/【月・木】9:00～12:00

【火・水・金・土・日】9:00～16:00

定休日/月・木曜 午後

魚津インターチェンジ付近の丘にあるたまご屋さん。放し飼いの鶏のたまごは右下の写真の通りぶる！1個から販売していて、手持ちのカゴがあれば入れてくれる。店頭では野菜なども販売している。お店の脇には元気なニワトリたちを観察できるコーナーも。

量り売り商品 豆



**OONO
SHOTEN**

有限会社 大野商店

魚津市真成寺町2-24

Mail: oono-sugar@major.ocn.ne.jp

TEL.0765-22-0005

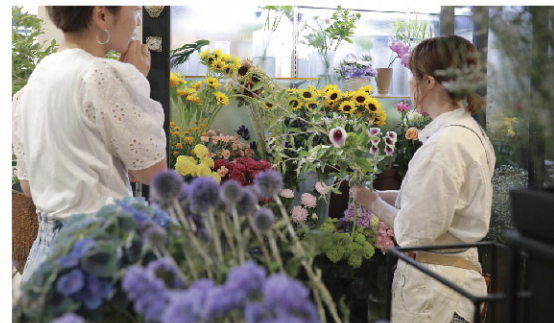
@oonoshoten

営業時間/【月～土】8:30～17:30

定休日/日・祝日

ノスタルジックな雰囲気魚津市・銀座商店街にある老舗商店。個人向けにさまざまな種類の豆を量り売りしている。用途に合わせて量を相談できるほか、変わった豆を食べてみたい時は調理方法も教えてくれる。店内にたくさん商品があるので見るのも楽しい。

量り売り商品 花卉(フラワーベース持込OK)



sachi10iro

サチトイロ

魚津市釈迦堂1丁目13-10

TEL.0765-24-3138

@sachi10iro

営業時間/10:00～18:00

定休日/水曜、日曜【月1回】

魚津駅前の花屋さん。こちらでは、フラワーベースを持込むと、その色や形状、飾るスペースに合わせて季節の花を生けてくれる。花をうまく生けることができない、といった方は相談しよう！持ち込みで生けてもらう際は、持ち帰り用のバッグ(写真左下参照)を忘れずに。



価値観が交差する
カフェをめざして

Ran Wakabayashi

cafe PUMP
: Owner



わかばやし らん
若林 蘭 さん

1989年生まれ
入善町出身

メルボルンで 人生の 大きな転機が

魚津で暮らし始めてから2
年が過ぎた頃、ワーキングホ

リデービザを利用して、夫婦
でオーストラリア・メルボル
ンへ行き、9ヶ月ほど滞在し
た。現地で滞在中、仕事の選
択肢が狭く、職探しに苦戦し
たが、良介さんの紹介もあ
り、カフェで働くことに。そ

柔らかい物腰で、ほんわか
した雰囲気がある一方、自分
のペースを乱さない強さ。一
言ひとこと、丁寧に言葉を選
びながら、真摯にインタ
ビューに答えてくれるのは、
若林 蘭さん。以前は、夫の良
介さんと一緒に、魚津水族館
とにある休憩所・みんな
のみなと内で、コーヒーやス
イーツを提供するカフェを定
期的に開いたほか、イベント
に出店していた。

行っていたことに加え、その
祖父母の家を結婚と同時に継
ぐことにしたからだという。
継ぐ、と聞くと、肩苦しく思
われるが、祖父母の姓（若
林）がなくなるのは寂しいと
いう、シンプルな気持ちから
決めたのだという。家を継ぐ
ことについて、若林さんは
「誰かに勧められた訳でもな
く、ただ自分の感情のまま
に、感じた思いを行動に移し
ただけなんです」と語る。祖
父母の家を継いだことで、魚
津との縁を感じ、今ではその
つながりを大切にしたい気持
ちがどんどん大きくなってい
るという。

「相談に乗ってくれる人や応
援してくれる人が増えて、と
てもいい関係が築けていると
思います」。

魚津との出会い つながり

魚津市に住み始めたきつ
けは、子どもの頃、祖父母の
家がある魚津へよく遊びに



約9ヵ月滞在した、オーストラリア・メルボルンでの思い出



一杯一杯、じっくりと淹れるスペシャルティコーヒー

目指すは 人生を変えた メルボルの ようなカフェ

合っているその姿からは、強
さと一途が感じられる。

若林さん夫妻が思い描くカフェの姿は、スペシャルティコーヒーを食事とともに楽しむことができるカフェ。若林さんは「メルボルのカフェのような、居心地の良さや生きやすさを感じられる場所にしたいです。お店に関わるすべての人が、より豊かな気持ちになってもらえたらうれし

い」と熱く語った。また、カフェの食事についても、メルボルンを感じるような食事を取り入れたいと思っているという。ただ、そのまま取り入れるのではなく、日本の食や自分たちがこれまで出会って「おいしい」「良い」と思ったものを融合した、オリジナルの食事を提供したいと考え



みらパークで行われた「草花交換会」にて

して、このカフェとの出会いが、若林さんの人生の大きな転機になった。
「これまで、不自由なく生きてきたつもりでした。でもこのカフェで働きながら『自分の心に正直に生きていなかった』『自分を大切にできていなかった』ということに気付いたんです」。
それは、滞在先で出会った人々が自分を大切にしている、と強く感じたから。
「メルボルのカフェでは、さまざまな価値観を持った人が、同じ空間で自分の時間を思い思いに楽しんでいます。いい意味で、周りの人のことを気にしない環境だったんです。周りの反応を伺うより、自分の選択を優先して生きている。そこはとても居心地がよく、生きやすいな、と感じました」。

真面目で 向上心がある 性格だからこそ 悩み続ける日々

メルボルンでの生活を経て、自分らしく生きることの大切さと楽しさを知り、生まれ変わった思いで帰国した若林さん。その一方で、新たな問題に気がつくことに。それは『自分の思いを伝えたり、行動を起こすための勇気がでない』ということ。

「今よりもっと自信を持てるよう成長したいです。うまくいかず悩んだときは、祖父母の家の周りにある山や川を散歩したり、本を読んで自分の時間を過ごしたり、気になるカフェに出かけたりして、リフレッシュしています」。
前向きな気持ちで自らと向き

ている。

めざすは「価値観が交差するカフェ」。そこに集まる人々を想像するだけで、とてもワクワクする。



丁寧な接客と他にはない雰囲気ファンも多い

若林さんへのお問い合わせ

cafe PUMP



※SODOとは? What's Kome sudo

いま、若い女性の人口減少への対応が魚津市の大きな課題となっています。そんな中、2016年10月に新しいプロジェクト・チームを結成。その名は「※sodo (コメソウドウ)」。魚津は米騒動発祥の地。生活を守りたいと奮起し、行動を起こした女性たちの歴史が刻まれたこの地で、私たちにもできることをやってみようとの想いから命名し、活動しています。

魚津で暮らすことを決めた私たち。魚津で活躍している女性やいろいろなコトを知るたび、前よりもっと魚津を好きになっています。私たちはこれから、少しずつですが自分たちでできることを探して、この想いを発信していきます。

「ウオワタ」バックナンバー あります。

魚津市役所、図書館、魚津駅などにあります
郵送もOK! 置いてくださる方も募集中!



インスタ発信中! "ウオワタ映え"写真、マメに更新中!

Instagram icon kome_sodo



お問い合わせ先

※SODO事務局

魚津市役所2F 地域協働課 女性活躍社会推進室

TEL.0765-23-1131

[E-MAIL] chiiki-kyodo@city.uozu.lg.jp

今回の「ウオワタ」でひとこと。

今回は裏表紙について。
ミラージュランドのメリーゴーランドと夕暮れ。
魚津の海岸沿いから臨む夕陽は
毎日違うグラデーションをともなっていて
Beautiful! 日々の喧噪から離れ、
日が沈むまでの1時間ながめているだけで
肩の力が抜けていきます...

ウオヅとワタシ 第9号

発行日 2022年9月30日

発行 魚津市 地域協働課 女性活躍社会推進室
〒937-8555 富山県魚津市釈迦堂1-10-1
TEL 0765-23-1131
FAX 0765-23-1051
E-MAIL chiiki-kyodo@city.uozu.lg.jp

企画・編集

※SODO

冊子デザイン

ホリデザイン制作室

写真

鬼塚仁奈 [tete studio works]

モデル [表紙・特集]

※SODO

©本紙の無断転載、複製を禁じます。 ©2022 ※SODO All Rights Reserved.



エコバッグとワタシ

気になるひとの「お気に入りのエコバッグ」を見せました!